

首都東京にある世界自然遺産

○ここにしかない教育資源を活かした教育活動

小笠原村は、世界自然遺産・歴史・風土等の多様性にあふれた環境や文化を活用した「小笠原学習」の実践・開発に取り組んでいます。

小笠原村が直面する課題について児童・生徒一人一人が自分事として捉え、世界でここだけのふるさと・小笠原を広く世界に発信できる人材育成に、地域とともに考え、取り組みます。

変革の中での実践

○小中一貫教育に関する施策の充実・推進

小学校教科担任制の推進、母島での義務教育学校の運営の深化、父島での義務教育学校開設に向けた教育課程の研究、小中一貫カリキュラムの作成等に携わります。

○学校主導の授業研究・教育課題研究

日々の実践から9年間の学びの連続性を意識した実践的指導力を高めることができます。

東京の最『先』端 小笠原村の教師になる

充実した研修等支援体制

○東京都教職員研修センターのバックアップ

小笠原村は、島しょ地域研修支援事業を積極的に活用します。都指導主事による来島での授業参観及び指導・助言を受けることができます。

○都内島しょ地区合同研修の実施

若手教員や分掌主任を対象とした島しょ地区合同研修を実施します。勤務地にいながら、他地区の教員とのつながりを持ち、小笠原での経験を活かすことができます。

「地域の子供は未来の宝である」

○島の未来を担う人材育成

義務教育終了時に人生の選択をする児童・生徒は、自らの人生を切り拓き、ふるさとである小笠原村を持続可能な社会(地域)とする担い手となることを望まれています。

小笠原村の教師は、国・都・村の施策に直結した教育活動を実践し、“いま、まさに”求められている資質・能力の育成に携わる、「島の未来の作り手」のひとりになります。